



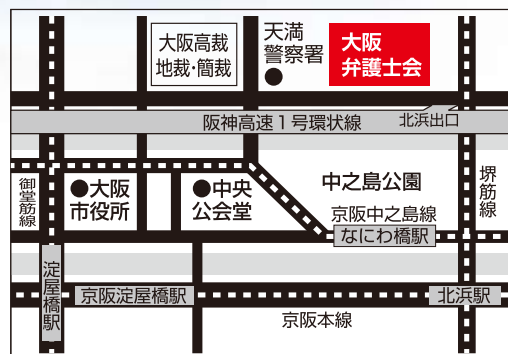
第54回日弁連人権擁護大会プレシンポジウム 岐路に立つ生活保護制度 ワーキングプア問題解消の処方箋を探る

生活保護受給者が全国で200万人を突破しました。大阪市の受給率は5.6%と全国一です。大阪市が旗振り役となって始まった「国と地方の協議会」は、本年9月中に「生活保護制度の抜本改革案」を提言する見込みです。

大阪市と同様に5%を超える受給率の中、当事者に寄り添う支援で注目を集める釧路市の取り組みをご紹介いただき、今、真の問題解決のためには何が必要か、各分野の第一人者の方々とともに考えます。

【交通手段】

- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口(1)から徒歩約5分
- ・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1番出口から徒歩約10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- ・JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分



【日時】**2011年10月1日(土) 13:00~17:00**

【場所】大阪弁護士会館 10階 1001・1002号室 入場料無料・申込不要

【主催】大阪弁護士会 【共催】日本弁護士連合会(予定)

【問合せ先】大阪弁護士会 委員会部 人権課 (TEL06-6364-1227)

第54回日弁連人権擁護大会プレシンポジウム
岐路に立つ生活保護制度
ワーキングプア問題解消の処方箋を探る

基調講演

**「希望を持って生きる“釧路チャレンジ”
～寄り添う支援の現場から」**

櫛部武俊さん

(前釧路市生活福祉事務所生活支援主幹)

【プロフィール】1975年釧路市職員となり、1988年旧保護課に異動。以降ケースワーカー15年、査察指導員6年担当。2004年生活保護受給者自立支援を査察指導員と兼務担当。2009年生活支援主幹。2010年厚生労働省『生活保護受給者の社会的な居場所づくりと新しい公共に関する研究会』委員。2011年3月釧路市職員定年退職。

基調報告

「生活保護制度をめぐる基礎知識」

松田直弘

(大阪弁護士会貧困・生活再建問題対策本部委員)

パネルディスカッション

畠山節子さん

(大阪市健康福祉局生活福祉部保護課長)

【プロフィール】1975年大阪市に福祉職員として採用される。福祉5法担当（障害福祉など）を経て、1988年生活保護ケースワーカーに。1996年民生局（当時）保護課にて各区の監査などを担当。2004年区的生活保護担当。2008年区の福祉5法、介護保険等担当。2011年4月から現職。

福原宏幸さん

(大阪市立大学大学院経済学研究科教授)

【プロフィール】労働経済論、社会政策専攻。ワーキングプア・就職困難者の問題や、パーソナルサポート・モデル事業の調査研究に従事。主な編著に『社会的排除／包摂と社会政策』（法律文化社、2007年）、『ワーキングプアに関する連合・連合総研共同調査研究報告書I・II』（主査、2010年・2011年）など。

河村直樹さん

(全労働省労働組合中央副執行委員長)

【プロフィール】1983年、労働省兵庫県職業安定課採用、尼崎公共職業安定所に配属。尼崎、西宮、神戸公共職業安定所にて職業相談、求人受理、雇用保険業務等を担当。1997年、全労働省労働組合中央執行委員、2004年より中央副執行委員長。「年越し派遣村」以降、各種相談活動に参加。

コーディネーター

小久保哲郎 (大阪弁護士会貧困・生活再建問題対策本部事務局長)